

建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel. 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751

環境、防災、維持管理技術

第28回技術研修会を開催

技術者約100人が知識深める

ミラクルソル協会など

ミラクルソル協会（原裕理事長）が主催する2020年度第28回技術研修会が16日、唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」であった。官公庁、建設コンサルタント会社、建設会社などから約100人の技術者が参加し、環境や斜面防災、維持管理技術について知識を深めた。

ミラクルソル協会の主催で、▽佐賀県ジオファイバー協会▽佐賀県ニューレスプ協会▽SSLAアンカー協会▽多数アンカー式補強土壁協会▽景観壁体研究会の5団体が共催。2部構成となっており、「環境と防災と維持管理技術」をテーマに様々な研修が行われた。

第1部では原理事長が「防災とグリーンインフラの環境負荷低減技術」の演題で講義。その中で「世界各地で異常気象に見舞われ、地球温暖化によつて災害が急増している」と説明し、地球温暖化対策の必要性を強調した。



▲講義を行うミラクルソル協会の原裕理事長

講義ではガラス廃材でつくったミラクルソルを使ったFWG透保水性舗装工法などについて解説し、「2ミリアンダーのミラクルソルを透水性舗装の間隙に充填することで保水性能が加わり、最大で約17度の温度抑制効果を得ることができると話した。

続いて、日特建設㈱九州支店の山下一臣技術部長が「近年の大規模災害におけるジオファイバー工法、ニューレスプ工法、親杭パネル壁工法の適用事例とその役割」と題し講演。

16年4月の熊本地震で被災した阿蘇大橋地区斜面対策工事の施工事例を取り上げ、斜面の整形や浸食防止のためのの植生工、落石などを

防止するための密着型安定ネット工、高強度ネット工の施工事例などを紹介した。



第28回技術研修会の様子

このほか、ミラクルソル協会水産養殖専門部会

の金丸彦一郎部長が「クリスタルバイオの水質浄化機能」、サンスイ・ナビコ㈱営業開発部の和田亮氏、同社九州営業所の堀江靖所長代理が「グラウンドアンカー健全度調査例およびSS

持管理の動向―診断対応型多数アンカーと点検事例」の演題でそれぞれ研修を実施した。会場では、パネルディスカッションや質疑応答なども行われた。